

# 地球温暖化に関するアンケート調査結果報告書

## （高校生抜粋）

令和3（2021）年 12月

## 目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査概要	1
3. 高校生へのアンケート集計結果	2
3.1 回答者の属性	2
3.2 地球温暖化による影響拡大への認識	3
3.3 地球温暖化防止の取り組み状況について	7
3.4 国の「温室効果ガス実質的排出量ゼロ」宣言による取り組み姿勢の変化（問7）	9
3.5 地球温暖化防止に関連する言葉の認知状況（問8）	10
3.6 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための手法（問9）	11
3.7 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策（問10）	13
4. 高校生及び市民のアンケート集計結果比較	14
4.1 地球温暖化による影響拡大への認識	14
4.2 地球温暖化防止の取り組み状況について	17
4.3 国の「温室効果ガス実質的排出量ゼロ」宣言による取り組み姿勢の変化（問7）	19
4.4 地球温暖化防止に関連する言葉の認知状況（問8）	20
4.5 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための手法（問9）	21
4.6 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策（問10）	22

## 1. 調査の目的

枚方市では2018（平成30）年度に策定した「枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の計画期間が2022（令和4）年度に終了することから、新たな計画の策定に取り組んでおり、その計画策定にあたって枚方市内の高等学校に通う学生の地球温暖化に対する考え方や取組状況などを把握し、参考にすることを目的に実施した。

## 2. 調査概要

市民・事業者アンケート調査概要は以下のとおり。

表1 高校生アンケート調査概要

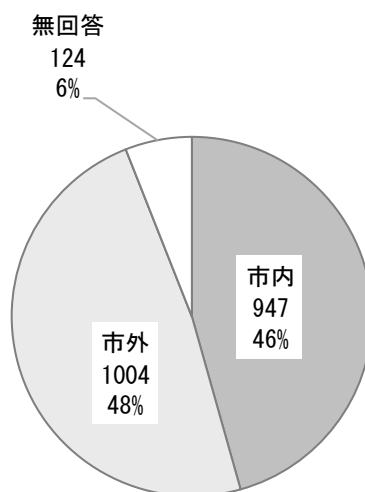
高校生アンケート	
対象	市内高校生 4,866人 回答数 2,074件
調査方法	直接配布（回答は「学校回収」または「Web」を選択）
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 属性</li> <li>・ 地球温暖化影響の拡大認識</li> <li>・ 地球温暖化対策の必要性認識</li> <li>・ 日常的地球温暖化防止の取り組み</li> <li>・ 国の宣言による取り組み姿勢変化</li> <li>・ 地球温暖化防止関連語の認知状況</li> <li>・ 地球温暖化対策関連情報の取得手法</li> <li>・ 市に期待する地球温暖化対策</li> </ul>
実施時期	令和3年8月25日(水)～11月16日(火)

### 3. 高校生へのアンケート集計結果

#### 3.1 回答者の属性

(1) あなたご自身のことについて、あてはまるものを選んでください。(問1)

回答者の46%が市内より学校に通っており、48%が市外区域から学校に通っているとわかった。



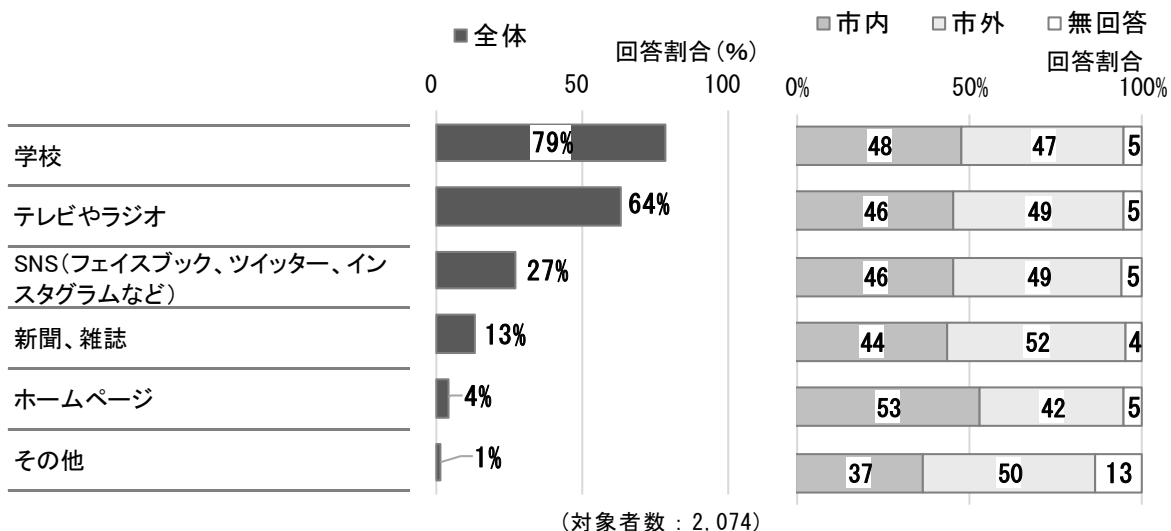
(対象者数:2,075人)

### 3.2 地球温暖化による影響拡大への認識

#### (1) あなたは地球温暖化についてどこで知りましたか。（問2）

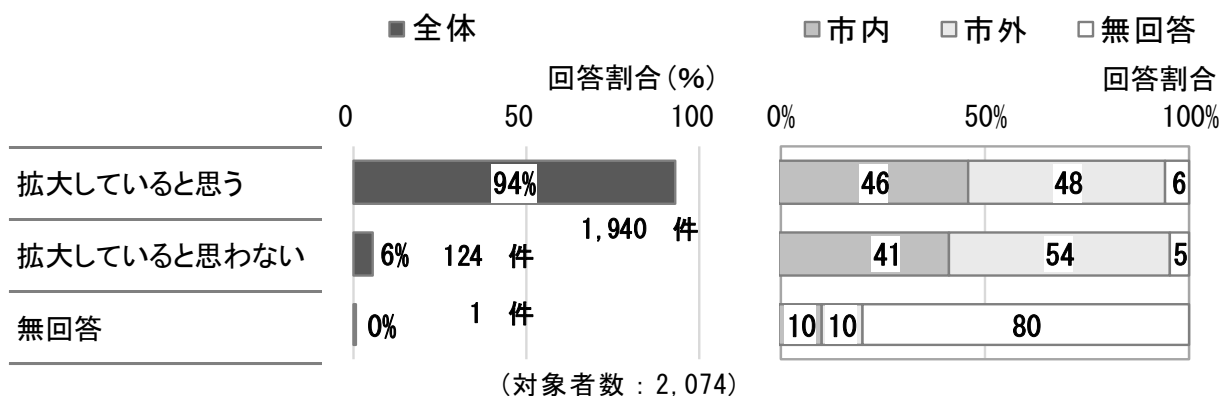
「地球温暖化についてどこで知ったか」について聞いたところ、最も回答が多かった項目は「学校」（全体の79%）、次いで「テレビやラジオ」（64%）であった。

また、地球温暖化に関する情報を入手した方法については、市内在住の適否で傾向は見られなかった。



#### (2) 地球温暖化による影響が拡大していると思う理由（問3）

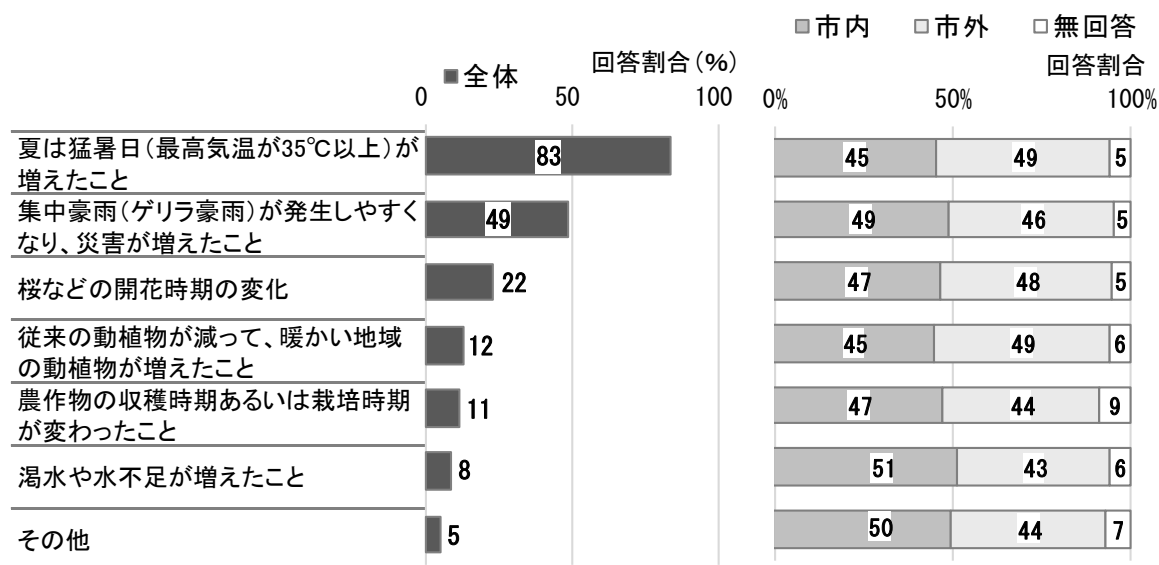
地球温暖化による影響が「拡大していると思う」と回答した人は、全体の94%（1,940件）でした。また、市内在住の適否で傾向は見られなかった。



(3) <問3で「1 拡大していると思う」を選んだ方にお聞きします>なぜそのように思いましたか。(問4)

「地球温暖化による影響が拡大していると思う理由」について聞いたところ、最も回答の多かったものは、「夏は猛暑日（最高気温が35℃以上）が増えたこと」（全体の83%）で、次いで「集中豪雨（ゲリラ豪雨）が発生しやすくなり、災害が増えたこと」（49%）となった。

また、市内在住の適否で傾向は見られなかった。

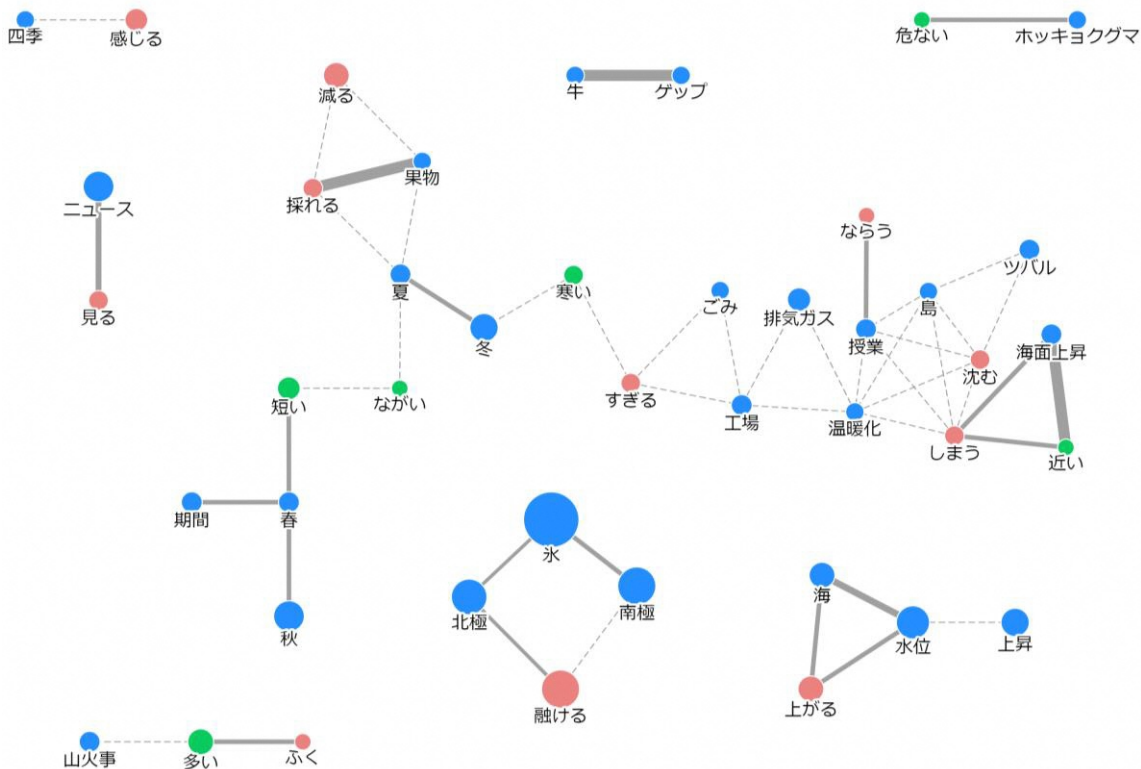
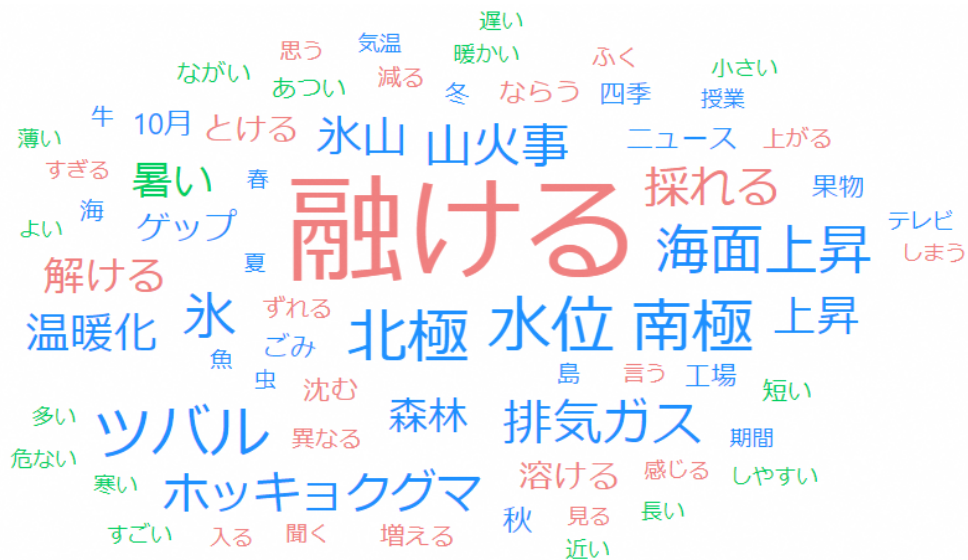


(対象者数：2,074)

【地球温暖化による影響が拡大していると思う理由（問4の自由回答）の概要】

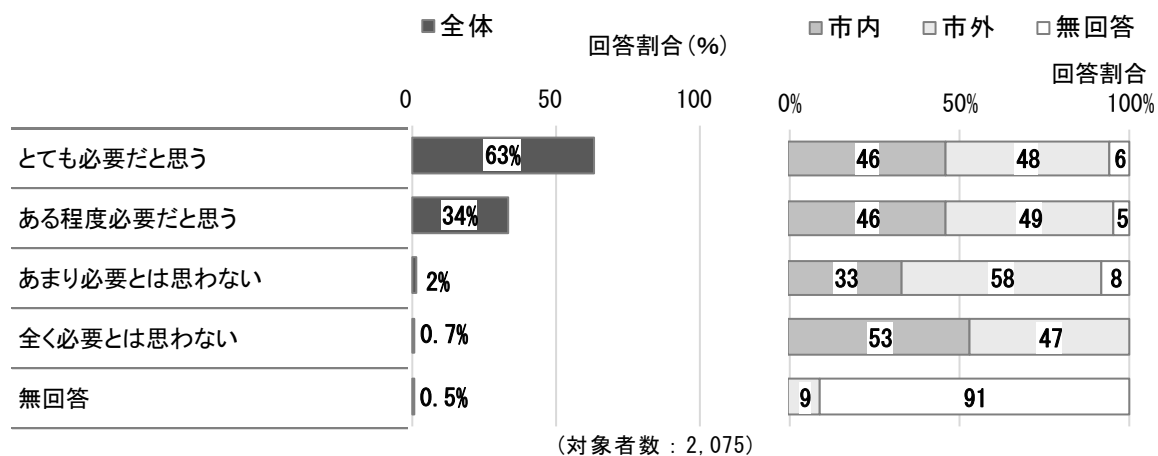
地球温暖化による影響が「拡大していると思う」と考えた理由の自由回答を、テキストマイニングを用いて解析した。

「融ける」を中心にした内容で、北極・南極の氷の融解のニュース等を見て、地球温暖化を感じる回答が多かった。また、学校等で習ったといった意見の他に、夏が長く春と秋が短くなっているように感じるといった意見も多数見られた。



(4) 地球温暖化対策は必要だと思うか。(問5)

「地球温暖化対策は必要だと思うか」の質問に対しては、「とても必要だと思う」との回答が最も多く全体で63%、「ある程度必要だと思う」と合わせて97%が「必要だと思う」と回答していた。



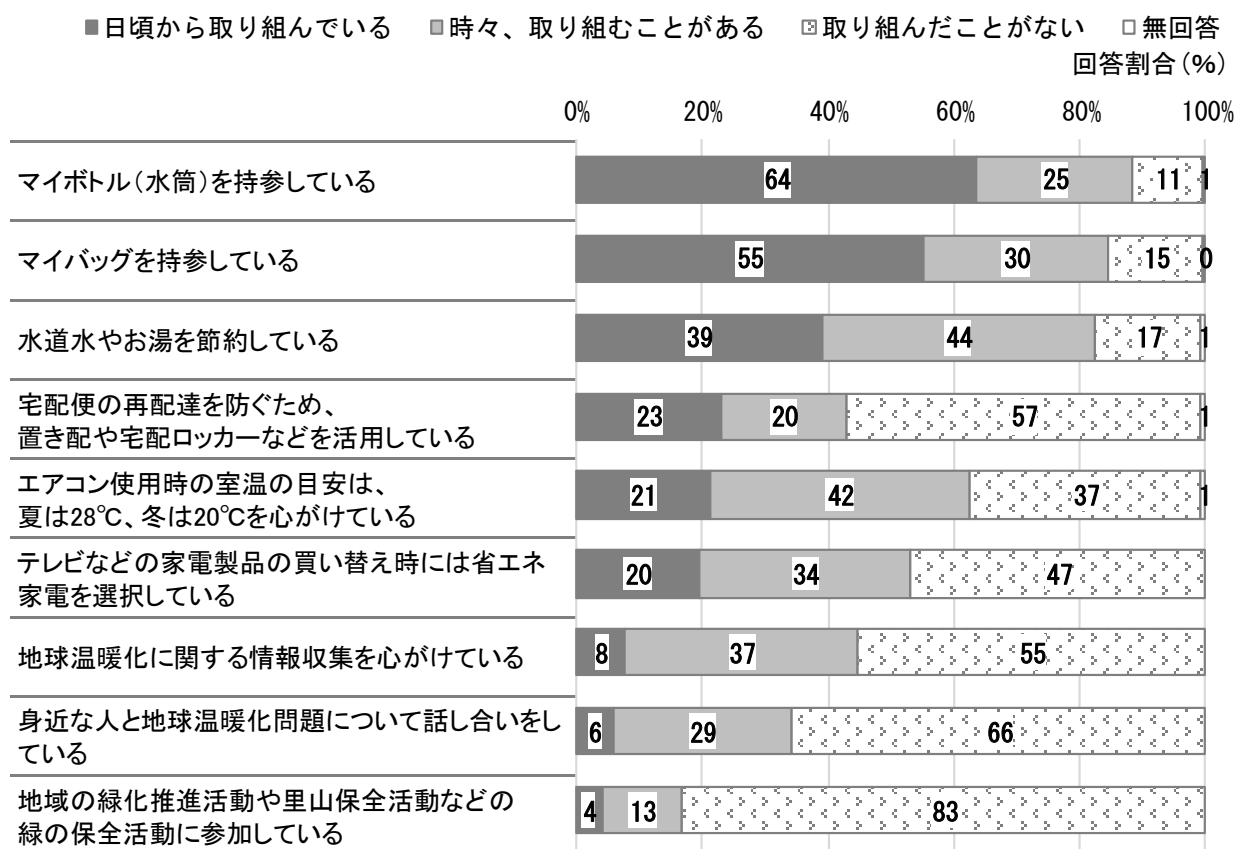


### 3.3 日常的に行っている地球温暖化防止の取り組み（問6）

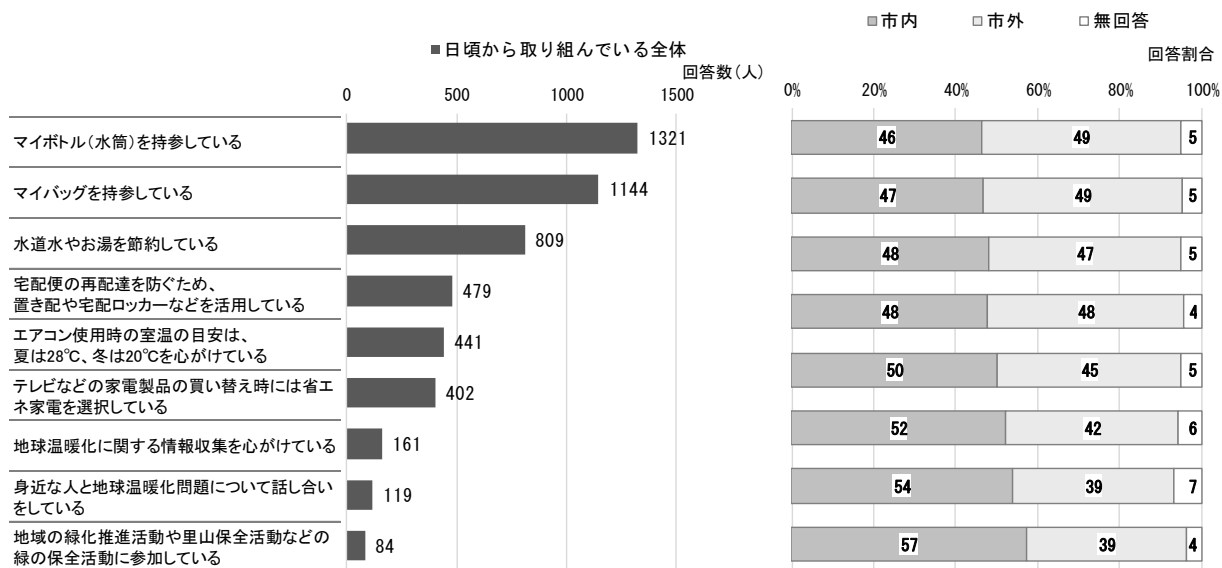
地球温暖化防止の取り組みとして、「日頃から取り組んでいる」との回答がもっと多かったのは「マイボトル（水筒）の持参をしている」で64%。次いで「マイバッグを持参している」が55%であった。「時々、取り組むことがある」を含めた「取り組んだことがある」項目で見ると、上記2項目に加え、「水道水やお湯を節約している」、「エアコン使用時の室温の心がけ」、「省エネ家電の選択」が5割以上で実施されていた。

一方で、「緑の保全活動に参加している」といったことに「取り組んでいる」人は2割以下の状況であった。

また、地球温暖化防止の取り組みにおいて、市内在住の適否で傾向は見られなかった。



(対象者数：2,074)



(対象者数：2,074)

【地球温暖化に関する取り組みの自由回答の概要】

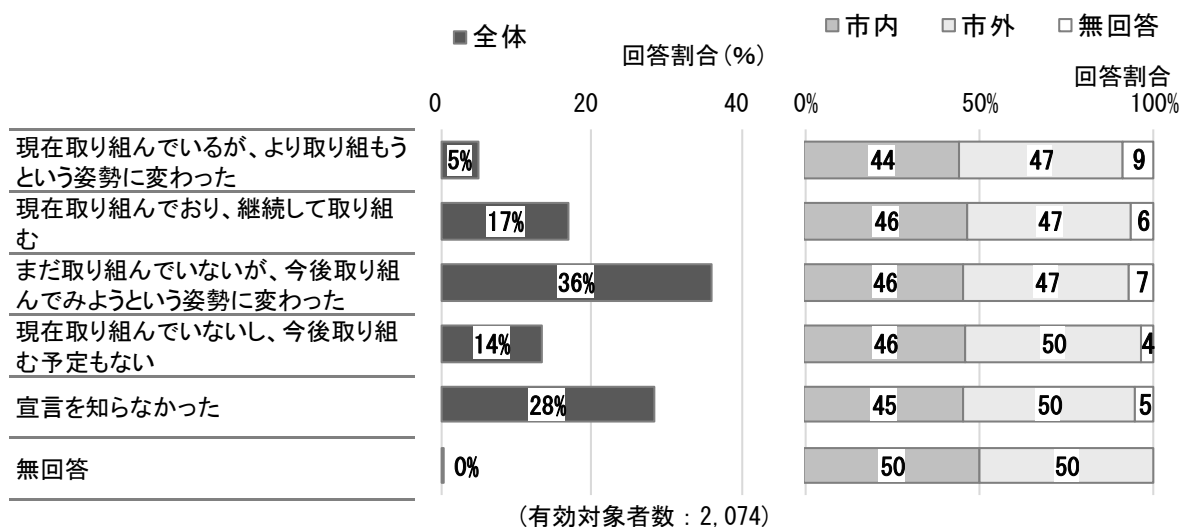
地球温暖化に関する取り組みの自由回答を一覧にまとめた。

内容
レジ袋をもらわない
ごみを分別しごみ箱へ捨てている
ポイ捨てをしない
使わない部屋の電気を消したりパソコンを省エネ設定にしたりするなど小さいことを取り組んでいきます。
SDG s の学習
中学校で本格的に地球温暖化に取り組んだことがあったので、どれだけ大事なこともよく勉強してきました。
どんぐりを育てて木（なえ）ができれば埋めていく（その施設に）
エアコンや扇風機はなるべく使わないようにしている。
枚方市環境部主催のワークショップに参加した。
節電、地球温暖化防止のための呼びかけ（意識づけのための）
階段を使う
ディスカッションして常に地球環境が極めて危険ということを忘れないようにしている。

### 3.4 国の「温室効果ガス実質的排出量ゼロ」宣言による取り組み姿勢の変化（問7）

2020年に国により「2050年までに二酸化炭素を含む温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを目指す」と宣言されたことによる地球温暖化対策への取り組み姿勢の変化については、全体の36%が「まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった」、5%が「現在取り組んでいるが、より取り組もうという姿勢に変わった」、17%が「現在取り組んでおり、継続して取り組む」と回答していた。一方で、28%は「宣言を知らなかった」、14%は「現在取り組んでいないし、今後取り組む予定もない」と回答していた。

また、市内在住の適否で傾向は見られなかった。

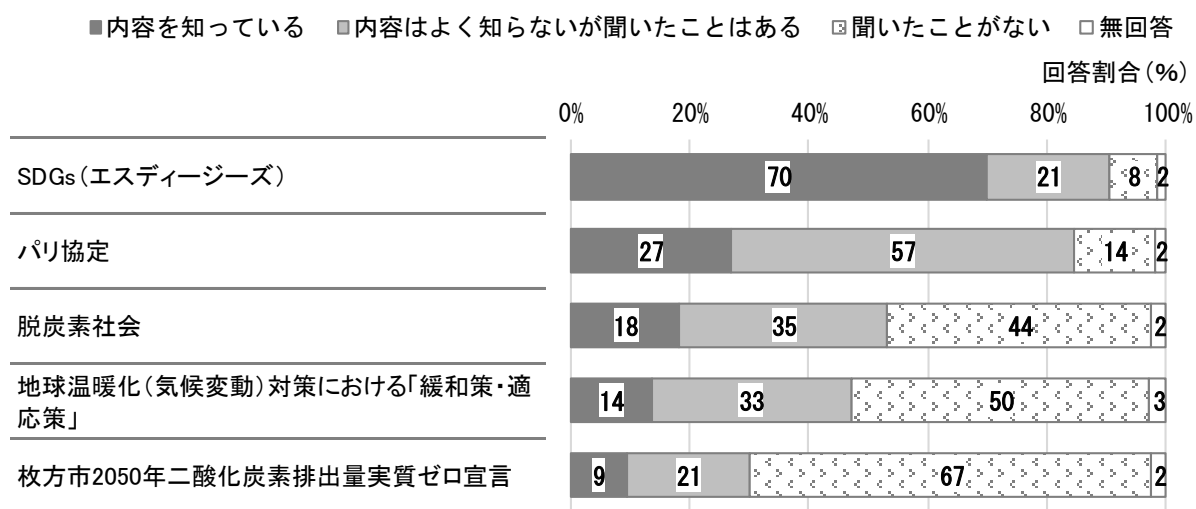


### 3.5 地球温暖化防止に関連する言葉の認知状況（問8）

地球温暖化防止の取り組みに関する言葉の認知状況として、「内容を知っている」の回答が最も多かったものは「SDGs」（全体の70%）であった。次いで、「パリ協定」についても全体の27%が「内容を知っている」と回答していた。

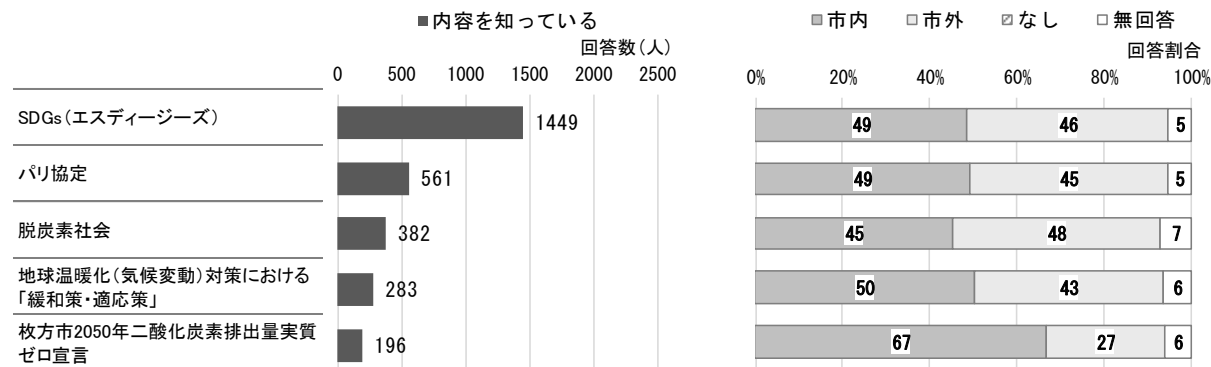
「脱炭素社会」及び「地球温暖化対策における緩和策・適応策」については、「内容を知っている」の回答は14~18%に留まったが、「内容をよく知らないが聞いたことはある」は3割程度回答があった。

最も認知度が低かったものは、「枚方市2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」についてで、「内容を知っている」及び「内容をよく知らないが聞いたことはある」を合わせても約3割程度の回答に留まった。



(対象者数：2,074)

また、市内在住の適否については、「枚方市2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」の項目で市内在住の方が多い傾向にあった。



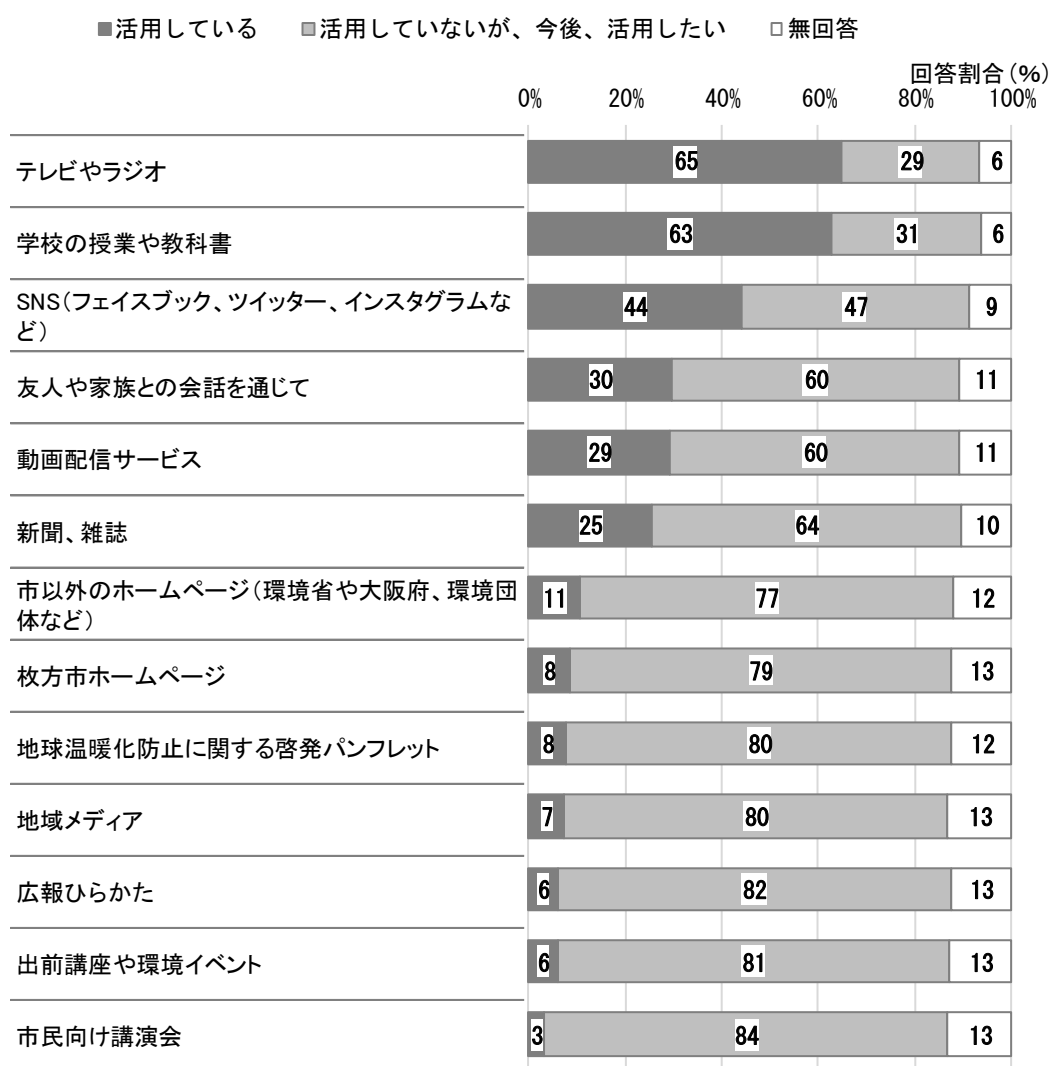
(対象者数：2,074)

### 3.6 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための手法（問9）

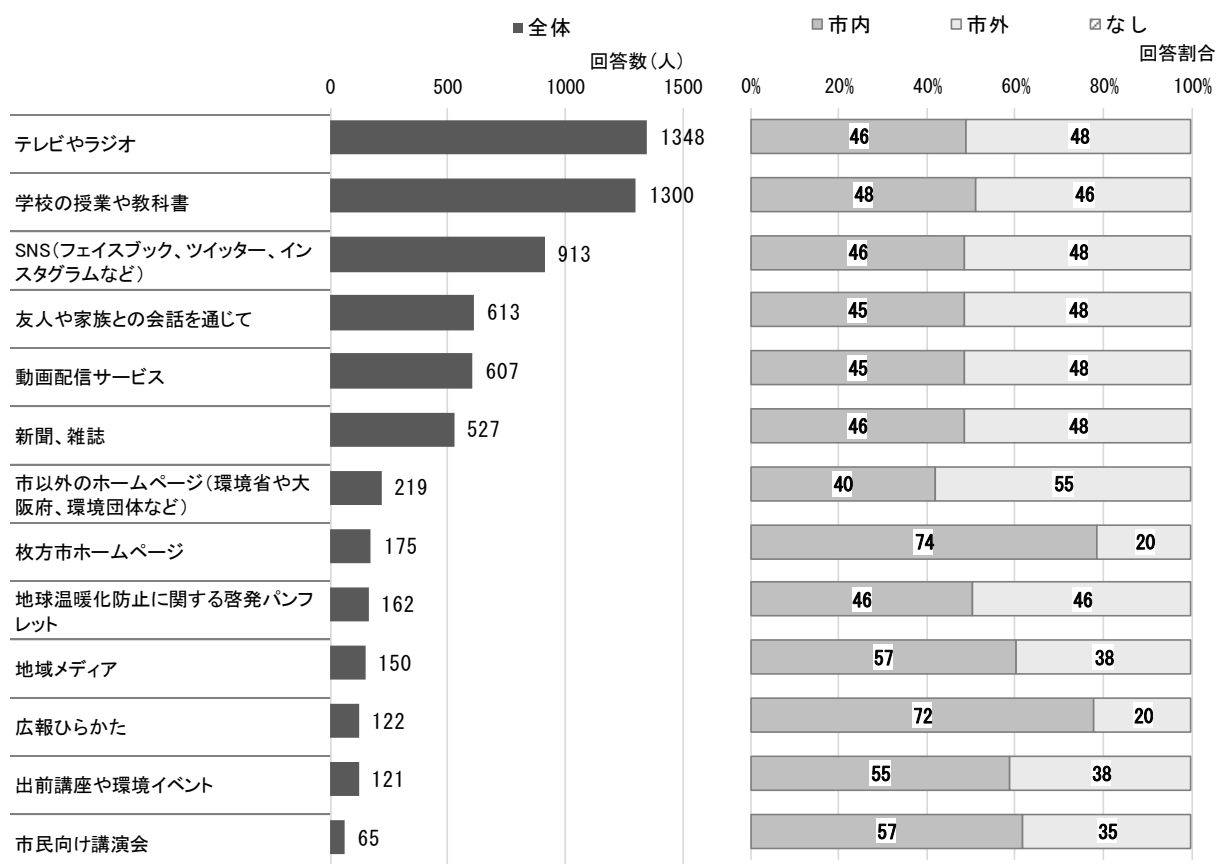
「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための方法として、「活用している」の回答が特に多かった2項目は「テレビやラジオ」（全体の65%）、次いで「学校の授業や教科書」（63%）であった。次いで、「SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど）」（44%）となり、「友人や家族との会話を通じて」及び「動画配信サービス」、「新聞、雑誌」が25～30%の割合で多く回答があった。

これら以外の項目については、「活用している」の回答が約1割以下となっていた。

市内在住の適否に関しては、「広報ひらかた」、「枚方市ホームページ」、「出前講座や環境イベント」、「市民向け講演会」、「地域メディア」の項目において、市内在住者の回答が多い傾向にあった。



(対象者数：2,075)



(対象者数：2,075)

### 【問9の自由回答の概要】

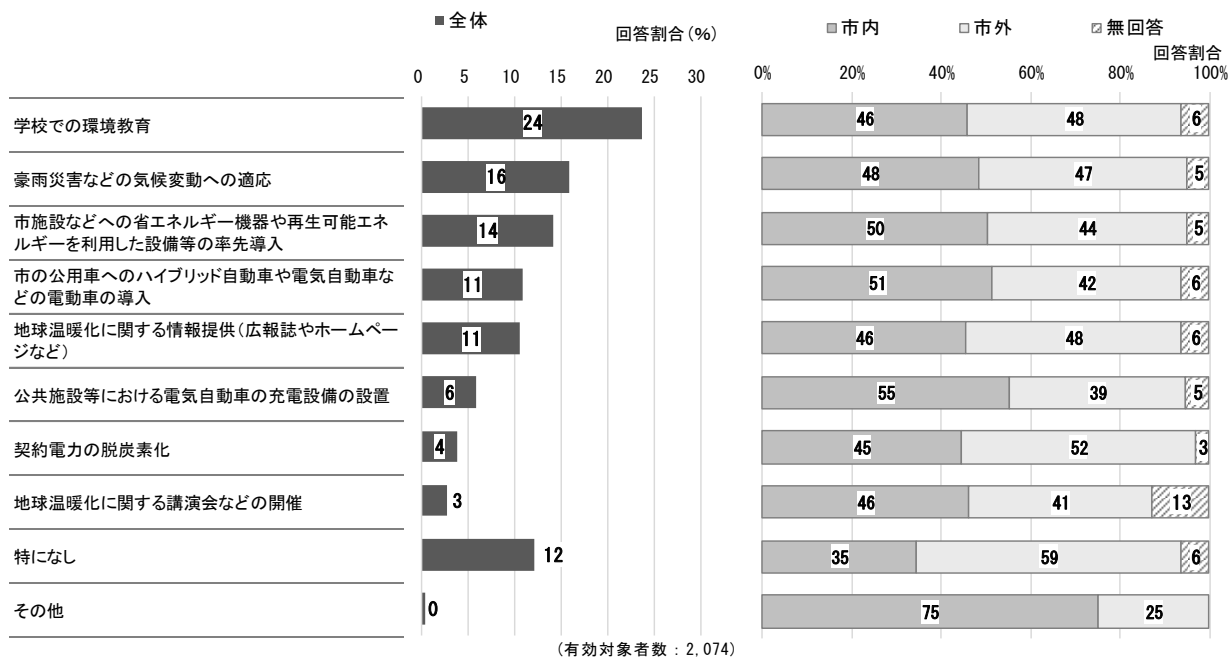
地球温暖化対策に関する情報を得る方法についての自由回答を一覧にした。

内容
書籍
塾
家族や友達との会話
自身の体感
映画
ニュース
学校などに貼られた啓発ポスター
ボーイスカウト、ガールスカウト
街頭広告

### 3.7 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策（問10）

今後、枚方市に期待する地球温暖化対策としては、「学校での環境教育」（全体の24%）で最も多く、次いで「豪雨災害などの気候変動への適応」（16%）、「市施設などへの省エネルギー機器や再生可能エネルギーを利用した設備等の率先導入」（14%）、「市の公用車へのハイブリッド自動車や電気自動車などの電動車の導入」及び「地球温暖化に関する情報提供（広報誌やホームページなど）」（11%）の回答が多かった。

また、市内在住の適否で傾向は見られなかった。



#### 【問10の自由回答の概要】

地球温暖化対策等に関する自由回答意見について一覧にした。

内容
コロナ対策のための休校措置等
暴風だけでなく、大雨でも休校措置を考えてほしい。
タブレットを活用することによって、紙の使用を抑える。
草木を増やす
全てするべき。
学生に地球にやさしいものを作る機会をつくる。
思い込みの修正、正しい情報の提供。
ボランティア活動

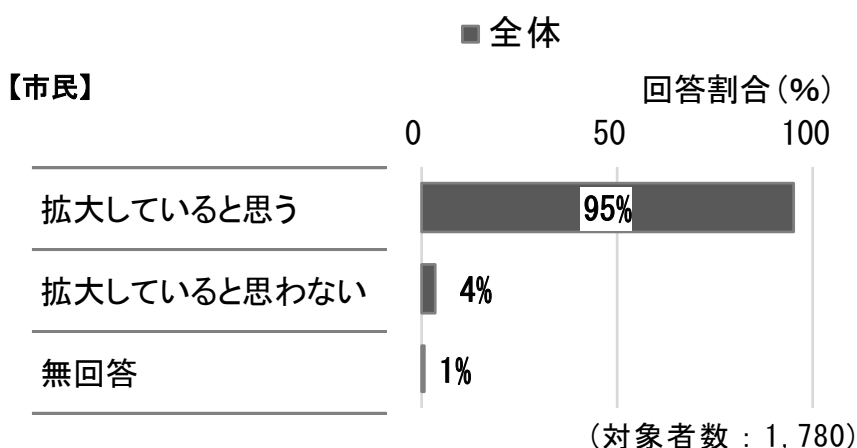
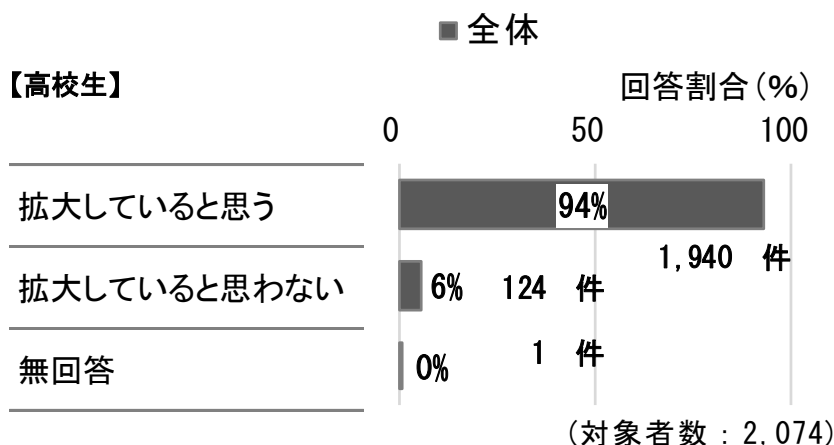
## 4. 高校生及び市民のアンケート集計結果比較

高校生アンケートの結果を市民アンケートの結果と比較した。共通する質問は「問3」、「問4」、「問5」、「問6」、「問7」、「問8」、「問9」、「問10」である。

### 4.1 地球温暖化による影響拡大への認識

#### (1) 地球温暖化による影響が拡大していると思う理由（問3）

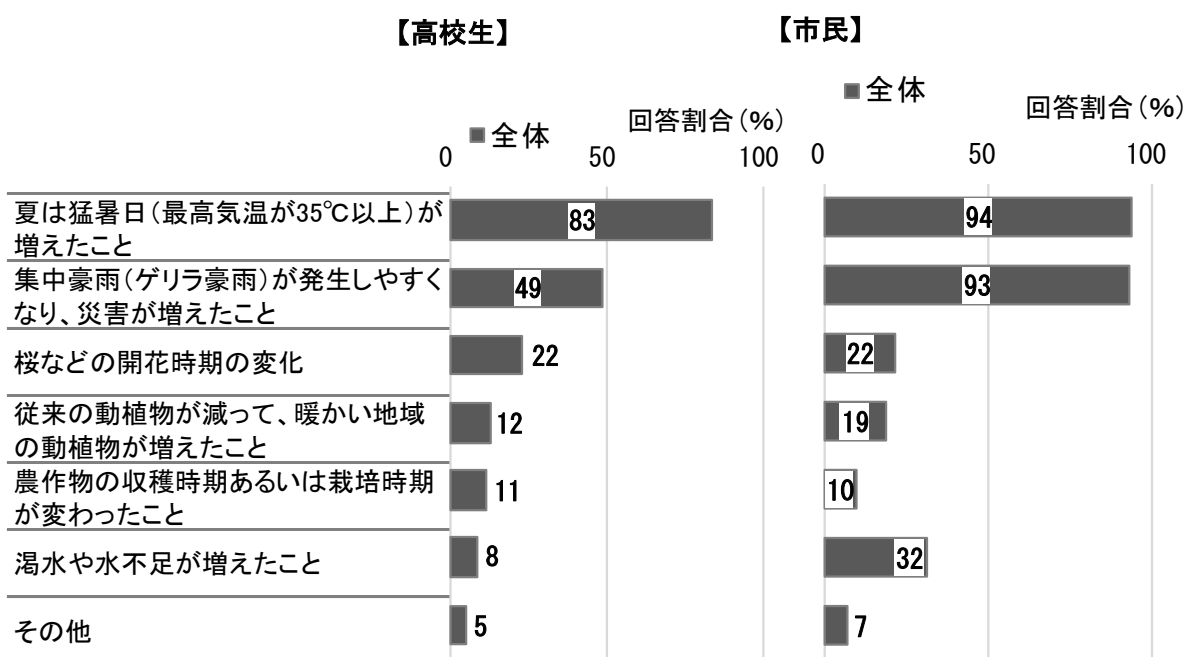
地球温暖化による影響が「拡大していると思う」の回答率は、高校生及び市民で90%以上であった。





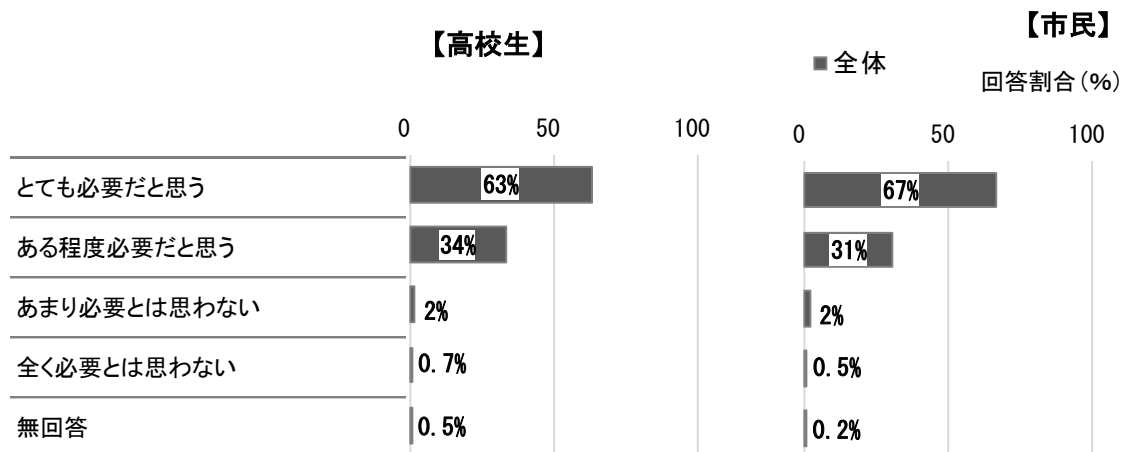
(2) <問3で「1 拡大していると思う」を選んだ方にお聞きします>なぜそのように思いましたか。(問4)

「地球温暖化による影響が拡大していると思う理由」について聞いたところ、高校生及び市民で最も回答の多かったものは、「夏は猛暑日（最高気温が35℃以上）が増えたこと」、次いで「集中豪雨（ゲリラ豪雨）が発生しやすくなり、災害が増えたこと」となった。市民アンケートよりも高校生アンケートの方が、「集中豪雨（ゲリラ豪雨）が発生しやすくなり、災害が増えたこと」が少ない傾向にあった。



(3) 地球温暖化対策は必要だと思うか。(問5)

「地球温暖化対策は必要だと思うか」の質問に対しては、高校生及び市民ともに「とても必要だと思う」との回答が最も多く全体で60%以上、「ある程度必要だと思う」と合わせて9割以上が「必要だと思う」としていた。



## 4.2 地球温暖化防止の取り組み状況について

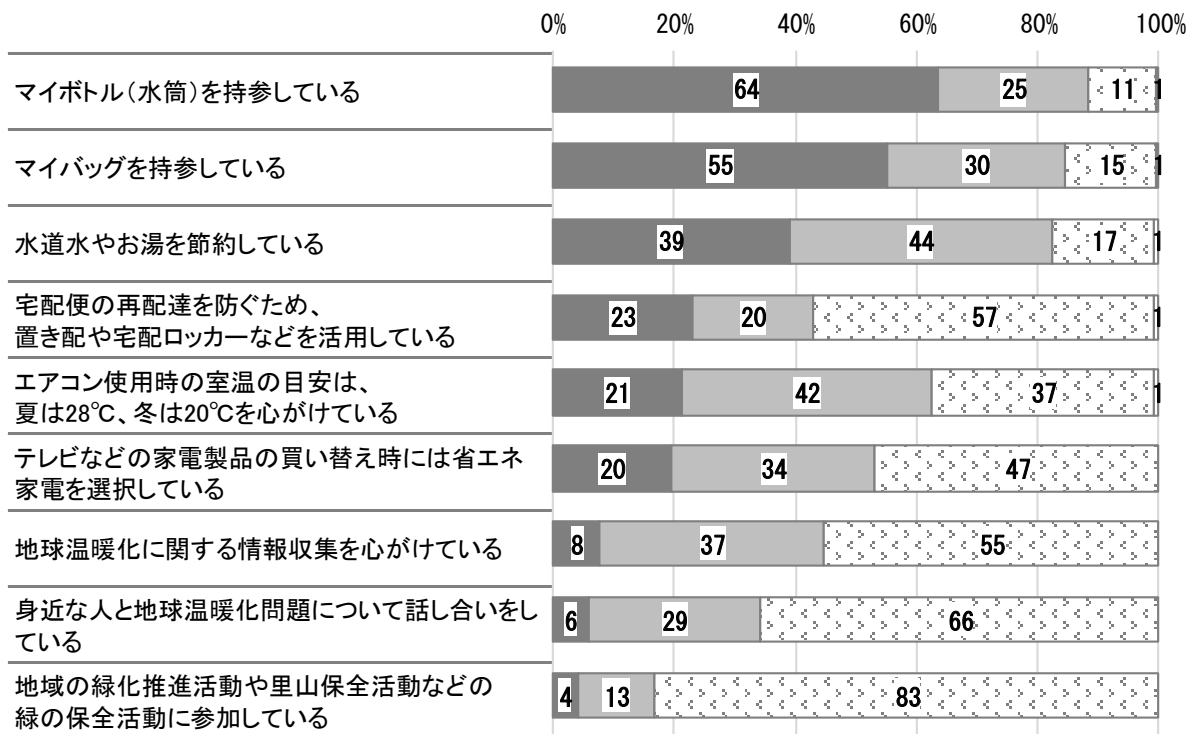
(1) あなたが日常的に行っている地球温暖化防止の取り組みについて、それぞれ1~3のうち、あてはまる番号を1つ選び、○で囲んでください。(問6)

地球温暖化防止の取り組みについて聞いたところ、高校生及び市民で「日頃から取り組んでいる」との回答が最も多かった項目は「マイボトル（水筒）の持参をしている」及び「マイバッグを持参している」であった。全体的に、市民において「日頃から取り組んでいる」の回答が多く、高校生では積極的にできない「省エネ家電の購入」や「エコドライブ」等の取り組みもなされており、市民の環境意識は全体的に高いことが伺える。

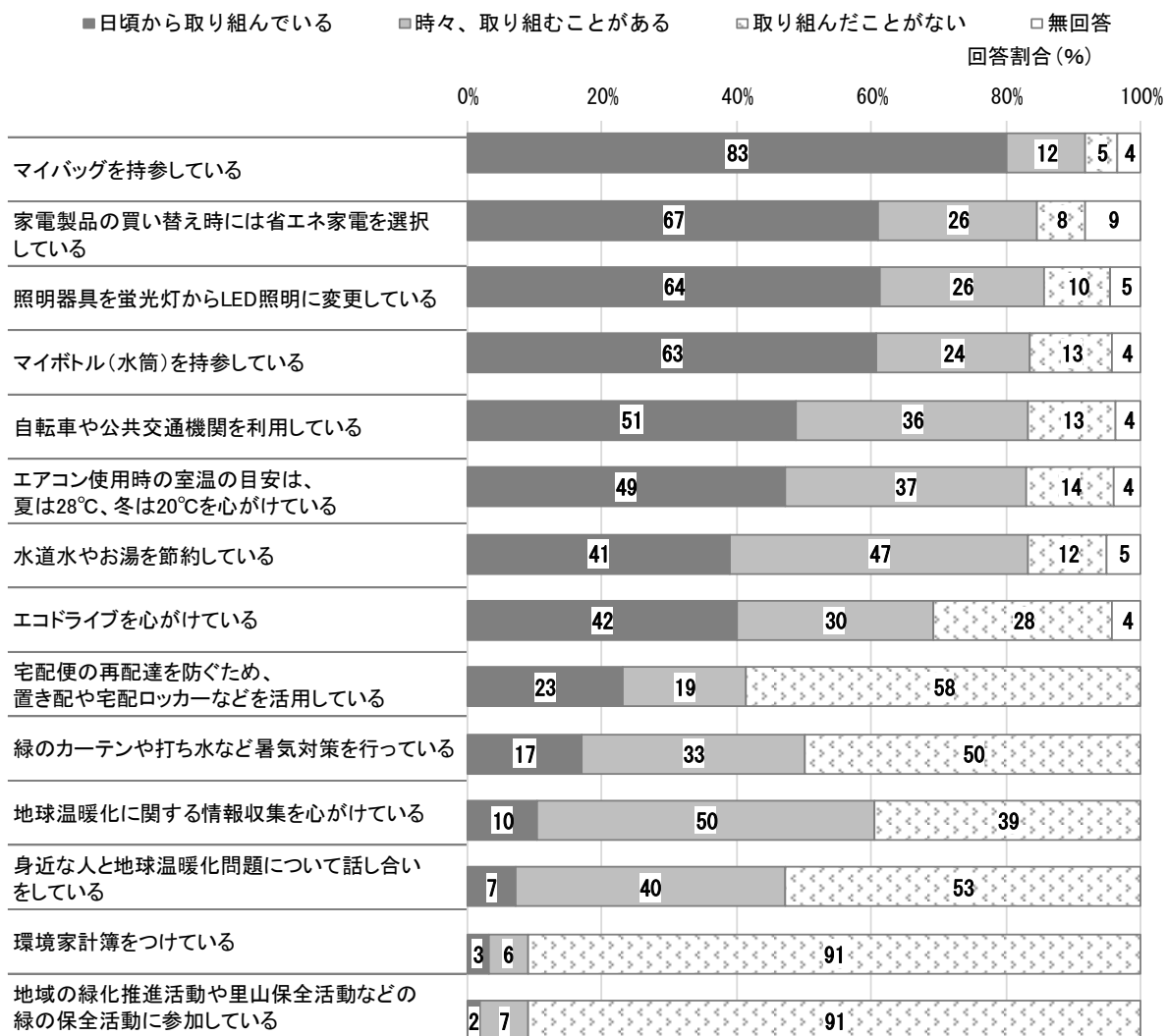
一方で、高校生及び市民で、「地球温暖化に関する情報収集を心がけている」、「身近な人と地球温暖化問題について話し合いをしている」、「緑の保全活動に参加している」といったことに「日頃から取り組んでいる」人は少ない傾向にあった。ここから、日常生活において取り組むことはできるものの、環境イベント等に自ら参加し取り組むことは難しいことがわかった。この課題を解決するには、学校生活や学校行事に環境イベント等を組み込み、参加しやすい環境を整備することが求められる。

### 【高校生】

■日頃から取り組んでいる ■時々、取り組むことがある □取り組んだことがない □無回答  
回答割合(%)



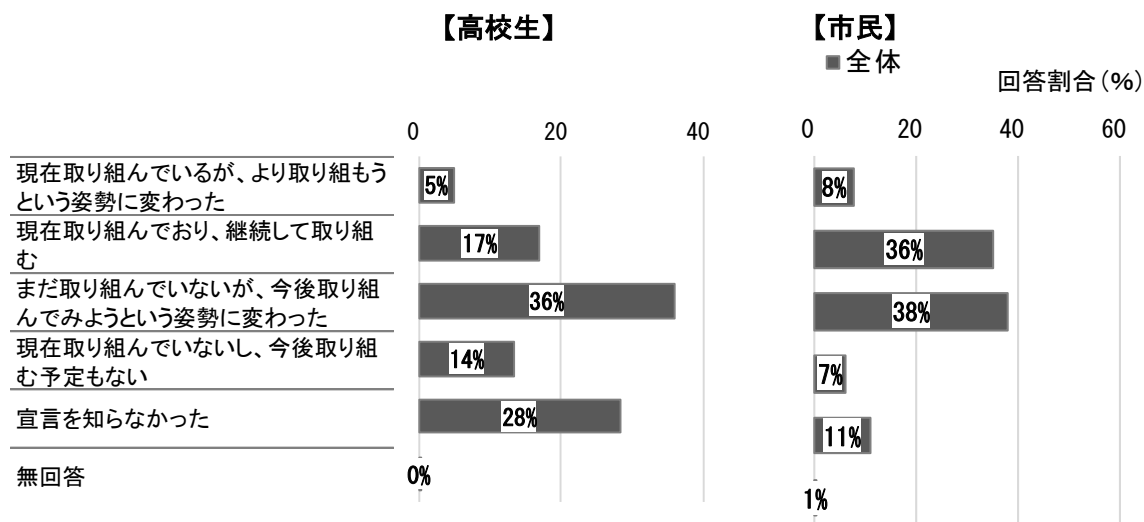
【市民】



### 4.3 国の「温室効果ガス実質的排出量ゼロ」宣言による取り組み姿勢の変化（問7）

「温室効果ガス実質的排出量ゼロ宣言」による地球温暖化対策への取り組み姿勢の変化については、高校生及び市民で最も多い回答は、「まだ取り組んでいないが、今後取り組んでみようという姿勢に変わった」であった。また、問6で取り組み実施状況についても分かるように、高校生よりも市民の方が地球温暖化対策への取り組みを行っているため、「現在取り組んでおり、継続して取り組む」の回答も市民の方が回答が多くなった。

一方で、高校生の方が「宣言を知らなかった」の回答率は多く、学校等において宣言の内容について周知してもらおう機会が必要だと考えられる。

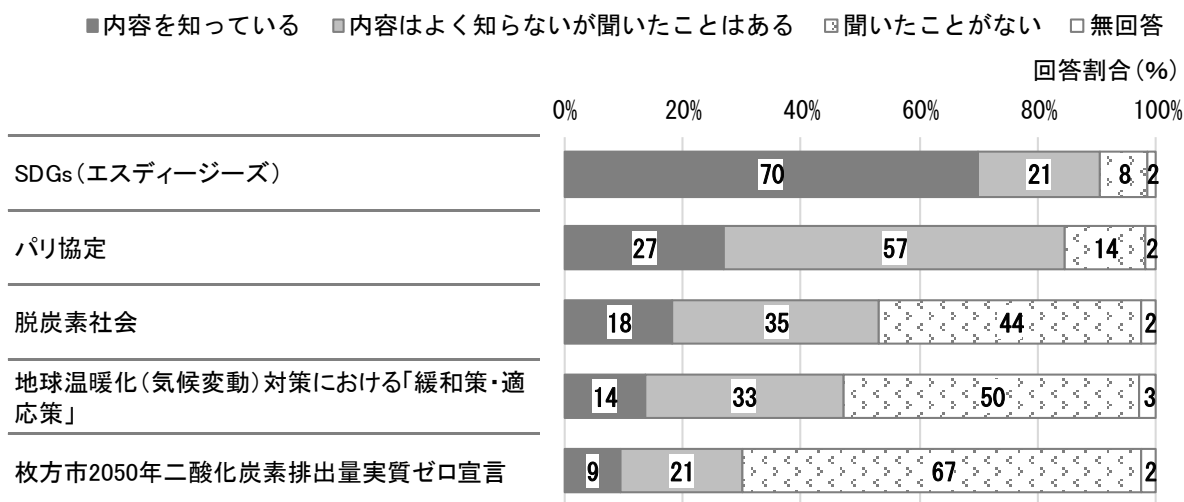


#### 4.4 地球温暖化防止に関連する言葉の認知状況（問8）

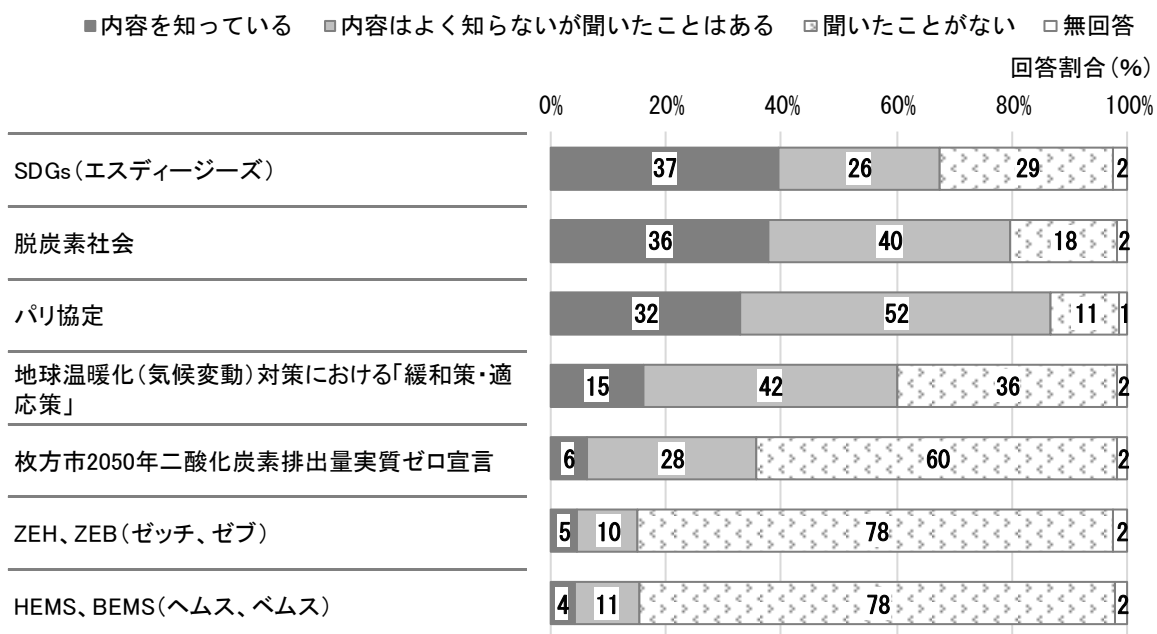
地球温暖化防止の取り組みに関する言葉の認知状況として、「内容を知っている」の回答が最も多かった項目は高校生で「SDGs」、「パリ協定」、「脱炭素社会」、「緩和策・適応策」、「枚方市2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」の順に多かった。これは、市民よりも「脱炭素社会」について認知している人が少ないという結果であった。しかし、「SDGs」に関しては高校生で7割に認知されており、「SDGs」に関する意識は高校生の方が高いことが伺える。

高校生及び市民で、最も認知度が低かった「枚方市2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ宣言」については、学校等において宣言の内容について周知してもらう機会が必要だと考えられる。

##### 【高校生】



##### 【市民】

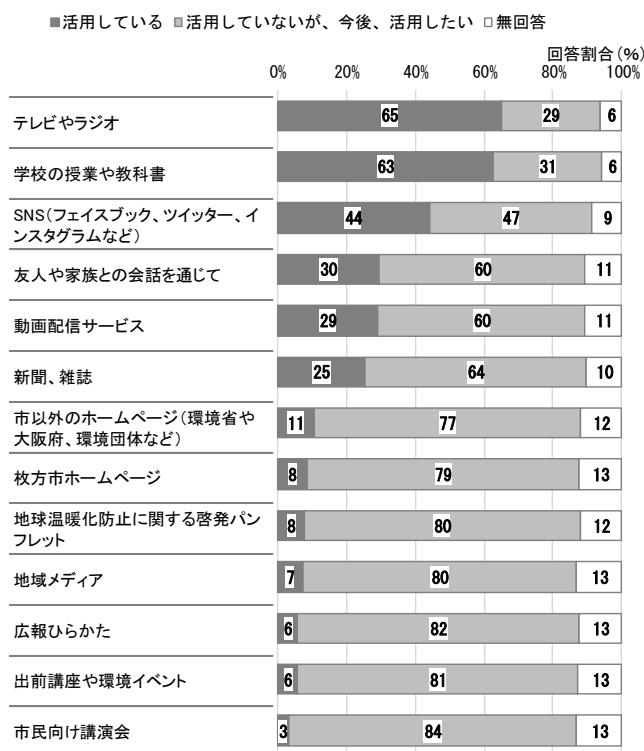


#### 4.5 「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための手法（問9）

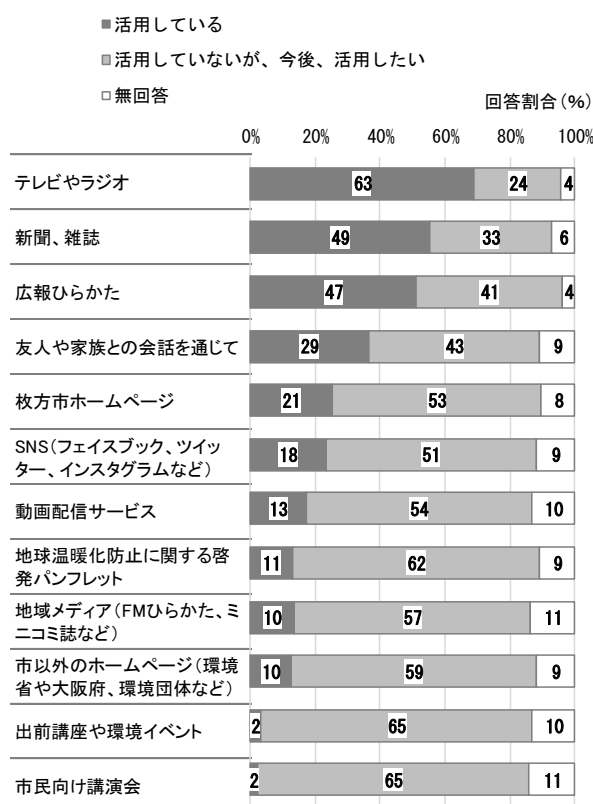
「地球温暖化対策」に関する情報を取得するための方法について聞いたところ、高校生では回答の多かった順に、「テレビやラジオ」、「学校の授業や教科書」、「SNS（フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなど）」、「友人や家族との会話を通じて」、「動画配信サービス」、「新聞、雑誌」となっている。これは市民の結果と異なり、Web媒体のものが上位に上がっていた。一方で、「広報ひらかた」や「枚方市ホームページ」の回答は少なかった。

これより、高校生に対して情報発信を行う場合は、「学校等で呼び掛ける」または「SNS等の地球温暖化に関して周知するWeb媒体を作成し、学校等で呼び掛けてもらう」といった方法が想定される。いずれにしても、学校を通して周知することが最も効果的だと考えられる。

#### 【高校生】



#### 【市民】

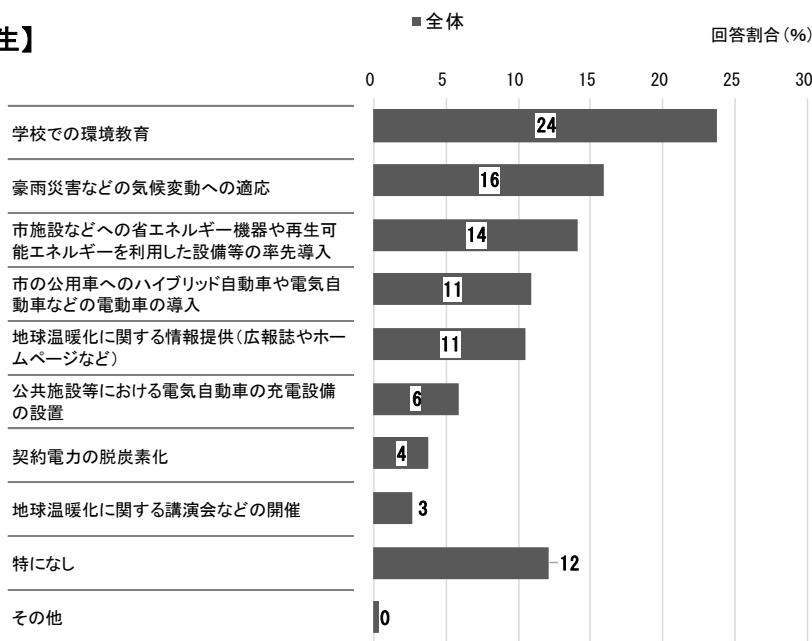


#### 4.6 今後、枚方市に期待する地球温暖化対策（問10）

「今後、枚方市に期待する地球温暖化対策」について聞いたところ、高校生で最も回答の多い項目は「学校での環境教育」であり、環境学習への高い意欲が伺えます。また、高校生及び市民で回答の多い項目は、「豪雨災害などの気候変動への適応」であり、世代問わず重要な対策だと言える。

高校生においては、環境問題について知りたいという意欲が高いため、正しい知識を周知できる仕組みづくりが必要だと考えられる。また、地球温暖化対策に加え、温暖化による豪雨災害の頻発を危惧し、災害への備えや地球温暖化（気候変動）対策における適応策に関する情報提供が必要となってくると考えられる。

##### 【高校生】



##### 【市民】

